

JHL NEWS

No. 4

2010年9月21日

●発行
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・高村 誠一
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

大同、紡織、大崎が開幕3連勝、北國も全勝キープ

～第35回 日本ハンドボールリーグ・第3週～

第35回日本ハンドボール第3週は千葉などで男子4試合、女子3試合が行われ、男子では大同特殊鋼、トヨタ紡織九州、大崎電気が開幕3連勝を飾った一方で前回2位のトヨタ車体は湧永製薬に1点差で敗れて悪夢の3連敗。女子は北國銀行がオムロンに23-20と競り勝ち、4連勝で単独トップを守った。

男子の大同-北陸電力戦は、GK高木のファインセーブや逆速攻などで前半15分6-3と主導権を握った大同が、山原、高橋らで追撃する北電に13-8と5点差をつけて前半を折り返すと、後半も6分過ぎからの4連打でさらに点差を広げた。その後も大同はエース末松のステップシュートやカットインなどで加点して優位をキープ。北電もGK有江が懸命のセービングをみせ、桜井のミドルシュート、速攻などで反撃したが、大同に傾いた流れを引き寄せるまでには至らなかった。

大崎-琉球コラソン戦は、永島の速攻で先制点を奪った大崎が豊田、小澤、東長濱の連続得点で早々とペースをつかんだ。琉球も前半なかば過ぎからGK石田の好守、栗崎の1対1からのミドルシュートなどで反撃したが、宮崎、小澤で加点した大崎が18-12でUターン。後半も猪妻の連打で好スタートを切った大崎が、アグレッシブな速攻を次々と繰り出し、GK吉田の安定した好守もあり高田、水野（裕紀）らで食い下がる琉球を危なげなく突き放した。

湧永-車体戦は、湧永が前半なかばから相手の攻撃を読むディフェンスで車体に得点を許さず、攻めては速い展開から新、古家らで加点、25分14-9と5点リードを奪った。車体も門山のパスカットからのミドルシュートで反撃するが15-12と湧永3点リードで前半終了。後半に入ると相手ミス速攻につなげた車体が開始3分で同点とすると、その後は佐藤、東長濱で加点する湧永に対し、車体も佐々木、富田らで応戦し、一進一退の攻防が続いた。試合が動いたのは16分過ぎ。24-23と勝ち越した湧永が20分までに3点を連取。その後もGK志水の好守が光る湧永が東長濱の効果的な追加点もあり、必死に追いつがる車体を1点差で振り切った。

女子のオムロン-北國戦は、北國が横嶋のポストシュートなどで3点を先取して幸先よいスタートを切ったのに対し、オムロンも東濱らの活躍でペースをつかみ始め、13分過ぎに7-7の同点に追いついた。ここからは両者譲らず一進一退の展開となり、11-11のイーブンで前半が終わった。後半に入っても1点を争う攻防が続いたが、北國は22分17-18と1点ビハインドの場面でタイムアウトを請求すると、横嶋、上町らで27分までに5点を連取して一気に逆転、がっちり流れを引き寄せた。終盤、オムロンも懸命に追撃したが、そのまま北國が3点差で勝利をつかんだ。

広島メイプルレッズ-三重バイオレットアイリス戦は、ここまでオムロンとの引き分けを含み1勝1分1敗と好調に滑り出した広島が、前半なかばから大前、呉らで加点して主導権を握り、18-15として前半を折り返した。後半出だし、伊藤のロングシュートで2点差とした三重だが、すぐさま広島は植垣らの得点で引き離しにかかり13分までに26-20とリード。その後も広島はGK堂面の好セーブもあって優位をキープ。三重は伊藤が12得点をあげたが、広島の総合力に屈する形となった。なお、この試合で広島・菅野が通算200得点をマークした。



④開幕3連勝を飾った大崎電気のルーキー東長濱
⑤2勝目をマークした広島メイプルレッズ・大前

第4週の日程

9月25日(土)	広島	東区スポーツセンター(アストラムライン牛田駅徒歩2分)	14:00~	(女)	広島メイプルレッズ × ソニーセミコンダクタ九州
9月26日(日)	山梨	小瀬スポーツ公園体育館(JR中央本線甲府駅15分, JR身延線南甲府駅10分)	13:00~	(女)	北國銀行 × 三重バイオレットアイリス
			15:00~	(男)	琉球コラソン × 豊田合成
	岡山	総社市スポーツセンター体育館「きびじアリーナ」(JR伯備線総社駅徒歩15分)	14:00~	(男)	北陸電力 × 湧永製薬
	福岡	福岡県立スポーツ科学情報センター「アクション福岡」(JR博多駅交通センターバス「アクション福岡前」下車)	14:00~	(男)	トヨタ紡織九州 × 大崎電気
	大分	大分県立総合体育館(JR日豊本線大分駅大洲総合運動公園行きバス大洲総合運動公園下車徒歩5分)	12:00~	(女)	オムロン × H.C.名古屋
			13:40~	(男)	トヨタ車体 × 大同特殊鋼

ソニーらが順当勝ち

大同特殊鋼、大崎電気とともに開幕2連勝のトヨタ紡織九州は豊田合成と対戦。鈴木が先取点を奪うと、呉、村上(秀)らでたたみかけて相手の出端をくじいた。合成も野田の7mスロー、中村の得点で反撃したが、紡織の速い攻撃と高い位置でのディフェンスに押され、前半23-13と紡織リード。後半もスピーディな攻守をみせた紡織ペースは変わらなかった。女子のソニーセミコンダクタ九州-HC名古屋は前半20分過ぎから、名古屋に退場者が出たのを機にソニーが一気に抜け出し、そのまま勢いによって18-10で前半終了。後半に入り、名古屋もミドル、ポストシュートで対抗するが、高栖、高橋らで着実に追加点を奪ったソニーが前回女王の貫禄を見せた。

男子3試合、女子4試合が組まれた次週では紡織-大崎の全勝対決がハイライト、大同-トヨタ車体戦の行方にも注目が集まる。

◆ 9月18日(土) 男子
千葉・市川市塩浜市民体育館

大崎電気	44	(18-12)	28	琉球	
3勝0分0敗		(26-16)		コラソン	0勝0分3敗
5/7	染谷	久高	0/0		
4/6	小澤	村山	2/7 1/1		
5/6	豊田	水野	矢 4/8		
2/2	3/7	東長濱	栗崎	3/6	
1/2	1/2	永島	池田	2/6	
	K	横地	内田	K <0/1>	
2/6		東	名嘉	0/2	
	2/6	森	内山	4/7	
3/4	岩永	高田	8/16		
2/4	内田	石田	K <0/2>		
1/1	4/4	猪妻	水野	紀 4/5	
<0/1>	K	吉田			
	8/13	宮崎			

◆ 9月18日(土) 男子
広島・湧永満之記念体育館

湧永製菓	29	(15-12)	28	トヨタ車体	
2勝0分1敗		(14-16)		0勝0分3敗	
<0/1>	K	志水	石戸	0/1	
2/5	谷村	佐々木	2/2		
2/3	木村	高智	3/7		
0/0	坂本	藤田	1/2		
1/2	0/0	濱本	木切	2/2	
1/2	1/2	山中	富田	4/4	
0/0	0/0	福田	光増	0/4	
4/5	佐藤	鶴谷	5/7		
0/0	樋口	坪根	K <0/1>		
5/8	新	香川	3/4		
	K	松村	崎前	1/3	
4/6	古家	銘苺	0/1 1/1		
0/0	山口	甲斐	K <1/2>		
1/1	9/16	東長濱	門山	6/9	

3/3 41/66 12(FPP)8 27/57 1/1
審判(黒木龍・黒木秀) 観客 526人

2/3 27/45 5(FPP)7 27/46 1/1
審判(多田・中館) 観客 548人

◆ 9月18日(土) 男子
佐賀・トヨタ紡織九州クレインアリーナ

トヨタ紡織九州	41	(23-13)	29	豊田合成	
3勝0分0敗		(18-16)		0勝0分3敗	
<0/2>	K	松野	榎原	0/0	
1/2	中島	原	0/0		
2/3	西端	野田	1/5 2/2		
1/1	松信	大橋	3/3		
6/6	村上秀	桶谷	1/1		
7/11	呉相民	中島	6/11		
3/4	佐久間	森光	1/1		
0/1	村上勝	加藤	0/0		
2/3	海道	藤田	K <0/1>		
	K	谷川	今村	7/9	
4/4	藤本	中村	6/7		
7/7	鈴木	芳仲	1/2		
1/1	5/7	藤山	藤堂	K	
	2/2	石黒	米本	1/1	

◆ 9月19日(日) 男子
福井・北陸電力福井体育館フレア

大同特殊鋼	26	(13- 8)	19	北陸電力	
3勝0分0敗		(13-11)		1勝0分2敗	
	K	田中	高橋	3/5	
1/1	0/2	棚原	神田	1/4	
	0/1	野村	切越	0/0	
1/1	7/12	末松	桜井	4/9	
	0/0	浦田	前田	1/5	
	3/5	地引	高田	1/2	
	1/3	武川	杉山	1/4	
	3/4	岸川	落合	5/5	
	K	高木	石塚	0/0	
2/2	3/5	山城	廣瀬	K <0/3>	
	K	東山	原	3/7	
0/0	0/0	下村	有江	K <0/1>	
0/0	0/0	松永	櫛田	0/0	
	5/6	渡久川			

◆ 9月19日(日) 女子
京都・京都府立体育館

ソニーセミコンダクタ九州	34	(18-10)	21	HC名古屋	
2勝0分2敗		(16-11)		0勝0分4敗	
<0/2>	K	中島	近藤	K <0/1>	
5/6	郭惠静	池田	3/5		
2/5	長野	伊藤	0/1		
1/1	7/8	高橋	高橋	0/7	
	5/6	田中	鈴木	3/15 3/3	
0/0	0/0	山田	菅谷	1/8 1/1	
1/1	1/4	工藤	阪本	1/1	
	7/9	高栖	外本	4/9	
0/0	0/0	川崎	上野	1/1	
0/0	0/0	黒木	高橋	2/2	
5/7	石井	家城	K <0/1>		
<0/2>	K	南	秋山	2/3	
0/0	0/0	錦織	横井	0/0	
0/3	張素姫	天野	0/0		

1/1 40/51 7(FPP)6 27/40 2/2
審判(亀井・堀川) 観客 537人

4/4 22/38 5(FPP)11 19/41 0/0
審判(佐々木・高原) 観客 376人

2/2 32/48 8(FPP)7 17/52 4/4
審判(黒木龍・黒木秀) 観客 550人

◆ 9月19日(日) 女子
京都・京都府立体育館

北國銀行	23	(11-11)	20	オムロン	
4勝0分0敗		(12- 9)		2勝1分1敗	
<0/2>	K	寺田	藤間	K <2/5>	
0/0	0/0	鯨場	城内	2/2	
4/6	5/9	上町	高田	1/6	
0/1	0/1	佐久川	巻	1/2	
0/1	0/1	川井	稲葉	1/3	
1/3	0/0	中村	吉田祥	0/0 1/1	
6/7	0/4	横嶋	藤井	3/10 2/2	
0/0	0/0	野路良	石立	1/2	
<0/1>	0/0	0/0	吉田薫	1/2	
	0/0	0/0	久野	0/0	
	0/0	0/0	永田	0/0	
	0/1	0/0	山中	K <0/1>	
	5/6	0/0	前田	2/3	
	2/2	0/0	東濱	5/19	

◆ 9月19日(日) 女子
広島・東区スポーツセンター

広島メイプルレッズ	35	(18-15)	29	三重バイオレットアイリス	
2勝1分1敗		(17-14)		1勝0分3敗	
<0/3>	K	堂面	浅井	K <0/2>	
8/11	0/0	土屋	横川	1/4	
0/0	0/0	村山	戎野	1/2 1/1	
5/7	0/0	大前	石黒	0/0	
3/3	6/15	植垣	宮下	4/7	
	2/7	菅野	谷口	0/0	
	1/1	早川	石坂	5/8	
	6/13	呉成玉	飯田	1/2	
0/0	0/0	0/0	毛利	K <0/1>	
1/1	0/0	0/0	星野	3/9	
0/0	0/0	0/0	伊藤	小川	1/1
0/1	0/0	0/0	高山	伊藤	9/16 3/3
3/5	0/0	0/0	新城	村尾	0/0
<0/1>	K	石原			

4/6 19/34 7(FPP)9 17/49 3/3
審判(池淵・檜崎) 観客 950人

3/3 32/61 9(FPP)2 25/49 4/4
審判(油上・中村) 観客 623人

チャレンジ・ディビジョン開幕

第2回チャレンジ・ディビジョンが9月18日にスタート、西地区2試合が兵庫で行われた結果、HondaとHC徳山が先勝した。

H o n d a	29	(19- 9)	24	H C 山口
		(10-15)		
徳山クラブ	28	(16-11)	27	H C・MKA
		(12-16)		

選手・スタッフ登録情報

◇広島メイプルレッズ
No.22 青戸あかね 1974.7.11 163cm 65kg
右 山陽女子高→東京女子体育大→イズミ・広島メイプルレッズ→瀬戸内レディース
※9月25日から出場可能

日程変更

試合日 平成22年12月5日(日)
会 場 沖縄県 東風平運動公園体育館
試合時間 13:30~琉球コラソンvsトヨタ紡織九州
(変更後)

平成22年12月4日(土)
※会場、試合時間に変更はなし

男女個人ランキング 第3週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	21点	(3試合)	1 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	36点	(4試合)
2 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	20点	(3試合)	2 上町 史織 (北國銀行)	32点	(4試合)
2 今村 彰伸 (豊田合成)	20点	(3試合)	3 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	28点	(4試合)
2 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	20点	(3試合)	4 高橋 恵 (ソニー)	24点	(4試合)
5 末松 誠 (大同特殊鋼)	19点	(3試合)	5 高栖 由香 (ソニー)	20点	(4試合)
6 高田 匠 (琉球コラソン)	18点	(3試合)	6 藤井 紫緒 (オムロン)	18点	(4試合)
7 山城 貴志 (大同特殊鋼)	17点	(3試合)	7 土屋 友美 (メイプルレッズ)	17点	(4試合)
7 呉 相民 (トヨタ紡織九州)	17点	(3試合)	7 新城 明奈 (メイプルレッズ)	17点	(4試合)
7 東長濱 秀作 (湧永製薬)	17点	(3試合)	7 長野 かづさ (ソニー)	17点	(4試合)
10 小澤 広太 (大崎電気)	16点	(3試合)	10 大前 典子 (メイプルレッズ)	16点	(4試合)
10 豊田 賢治 (大崎電気)	16点	(3試合)	10 星野 美佳 (バイオレットアイリス)	16点	(4試合)
12 中村 晃己 (豊田合成)	15点	(3試合)	10 東濱 裕子 (オムロン)	16点	(4試合)
12 鈴木 濟 (トヨタ紡織九州)	15点	(3試合)	13 若松 里佳 (北國銀行)	15点	(4試合)
12 落合 信也 (北陸電力)	15点	(3試合)	13 横嶋 かおる (北國銀行)	15点	(4試合)
12 渡久川 兼太 (大同特殊鋼)	15点	(3試合)	13 菅谷 美奈 (H C 名古屋)	15点	(4試合)
12 野田 祐希 (豊田合成)	15点	(3試合)	13 鈴木 身江子 (H C 名古屋)	15点	(4試合)
12 村山 裕次 (琉球コラソン)	15点	(3試合)			

フィールド得点

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	21点	(3試合)	1 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	30点	(4試合)
2 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	20点	(3試合)	2 高栖 由香 (ソニー)	20点	(4試合)
2 今村 彰伸 (豊田合成)	20点	(3試合)	3 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	18点	(4試合)
4 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	18点	(3試合)	3 上町 史織 (北國銀行)	18点	(4試合)
4 高田 匠 (琉球コラソン)	18点	(3試合)	5 土屋 友美 (メイプルレッズ)	17点	(4試合)
6 呉 相民 (トヨタ紡織九州)	17点	(3試合)	5 新城 明奈 (メイプルレッズ)	17点	(4試合)
7 小澤 広太 (大崎電気)	16点	(3試合)	5 高橋 恵 (ソニー)	17点	(4試合)
7 末松 誠 (大同特殊鋼)	16点	(3試合)	5 長野 かづさ (ソニー)	17点	(4試合)
9 中村 晃己 (豊田合成)	15点	(3試合)	9 大前 典子 (メイプルレッズ)	16点	(4試合)
9 鈴木 濟 (トヨタ紡織九州)	15点	(3試合)	9 星野 美佳 (バイオレットアイリス)	16点	(4試合)
9 落合 信也 (北陸電力)	15点	(3試合)	9 東濱 裕子 (オムロン)	16点	(4試合)
9 渡久川 兼太 (大同特殊鋼)	15点	(3試合)	12 若松 里佳 (北國銀行)	15点	(4試合)
9 豊田 賢治 (大崎電気)	15点	(3試合)	12 横嶋 かおる (北國銀行)	15点	(4試合)
14 新建 二 (湧永製薬)	14点	(3試合)	12 藤井 紫緒 (オムロン)	15点	(4試合)
14 山城 貴志 (大同特殊鋼)	14点	(3試合)	15 呉 成玉 (メイプルレッズ)	14点	(4試合)
14 門山 哲也 (トヨタ車体)	14点	(3試合)			
14 東長濱 秀作 (湧永製薬)	14点	(3試合)			

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 鈴木 濟 (トヨタ紡織九州)	15点/ 18射 0.833	1 高栖 由香 (ソニー)	20点/ 25射 0.800
1 中村 晃己 (豊田合成)	15点/ 18射 0.833	2 土屋 友美 (メイプルレッズ)	17点/ 22射 0.773
3 小澤 広太 (大崎電気)	16点/ 20射 0.800	2 新城 明奈 (メイプルレッズ)	17点/ 22射 0.773
4 落合 信也 (北陸電力)	15点/ 19射 0.789	4 大前 典子 (メイプルレッズ)	16点/ 23射 0.696
4 渡久川 兼太 (大同特殊鋼)	15点/ 19射 0.789	5 高橋 恵 (ソニー)	17点/ 26射 0.654
6 豊田 賢治 (大崎電気)	15点/ 21射 0.714	6 星野 美佳 (バイオレットアイリス)	16点/ 29射 0.552
7 宮崎 大輔 (大崎電気)	21点/ 31射 0.677	7 長野 かづさ (ソニー)	17点/ 33射 0.515
8 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	20点/ 30射 0.667	8 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	30点/ 60射 0.500
9 今村 彰伸 (豊田合成)	20点/ 31射 0.645	9 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	18点/ 46射 0.391
10 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	18点/ 29射 0.621	10 上町 史織 (北國銀行)	18点/ 47射 0.383

7mスロー得点

1 野田 祐希 (豊田合成)	6点	(3試合)	1 上町 史織 (北國銀行)	14点	(4試合)
2 桜井 渉 (北陸電力)	5点	(3試合)	2 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	10点	(4試合)
3 村山 裕次 (琉球コラソン)	4点	(3試合)	3 高橋 恵 (ソニー)	7点	(4試合)
4 末松 誠 (大同特殊鋼)	3点	(3試合)	4 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	6点	(4試合)
4 山城 貴志 (大同特殊鋼)	3点	(3試合)	5 鈴木 身江子 (H C 名古屋)	5点	(4試合)
4 東長濱 秀作 (湧永製薬)	3点	(3試合)	5 戎野 満梨奈 (バイオレットアイリス)	5点	(4試合)

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 吉田 耕平 (大崎電気)	2本/ 4射 0.500	1 藤間 かおり (オムロン)	6本/ 14射 0.429
1 内田 武志 (琉球コラソン)	2本/ 4射 0.500	2 寺田 三友紀 (北國銀行)	4本/ 12射 0.333
3 石田 孝一 (琉球コラソン)	2本/ 6射 0.333	3 堂面 妙子 (メイプルレッズ)	2本/ 7射 0.286
3 田中 雄大 (大同特殊鋼)	1本/ 3射 0.333	4 中島 亜樹 (ソニー)	3本/ 14射 0.214
3 坪根 敏宏 (トヨタ車体)	1本/ 3射 0.333	5 近藤 澄江 (H C 名古屋)	1本/ 5射 0.200

第35回日本ハンドボールリーグ成績表 第3週終了 9月19日

順位	男子	大崎電気	トヨタ紡織九州	大同特殊鋼	湧永製薬	北陸電力	トヨタ車体	豊田合成	琉球コラソン	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気					34 ○ 24	32 ○ 30		44 ○ 28	3	3	0	0	6	110	82	28
2	トヨタ紡織九州						33 ○ 30	41 ○ 29	28 ○ 22	3	3	0	0	6	102	81	21
3	大同特殊鋼				27 ○ 22	26 ○ 19		27 ○ 26		3	3	0	0	6	80	67	13
4	湧永製薬			22 ● 27			29 ○ 28		28 ○ 21	3	2	0	1	4	79	76	3
5	北陸電力	24 ● 34		19 ● 26				26 ○ 25		3	1	0	2	2	69	85	-16
6	トヨタ車体	30 ● 32	30 ● 33		28 ● 29					3	0	0	3	0	88	94	-6
7	豊田合成		29 ● 41	26 ● 27		25 ● 26				3	0	0	3	0	80	94	-14
8	琉球コラソン	28 ● 44	22 ● 28		21 ● 28					3	0	0	3	0	71	100	-29

順位	女子	北国銀行	広島メイプルレッズ	オムロン	ソニーセミコンダクタ九州	三重バイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北国銀行		26 ○ 21	23 ○ 20	28 ○ 26		27 ○ 17	4	4	0	0	8	104	84	20
2	広島メイプルレッズ	21 ● 26		25 △ 25		35 ○ 29	39 ○ 16	4	2	1	1	5	120	96	24
3	オムロン	20 ● 23	25 △ 25		17 ○ 15	32 ○ 14		4	2	1	1	5	94	77	17
4	ソニーセミコンダクタ九州	26 ● 28		15 ● 17		39 ○ 25	34 ○ 21	4	2	0	2	4	114	91	23
5	三重バイオレットアイリス		29 ● 35	14 ● 32	25 ● 39		33 ○ 25	4	1	0	3	2	101	131	-30
6	HC名古屋	17 ● 27	16 ● 39		21 ● 34	25 ● 33		4	0	0	4	0	79	133	-54

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。